

「点検支援新技術」現場活用状況の動画を公開

○平成30年度北陸地方整備局の橋梁・シェッド定期点検において下記の「点検支援新技術」を活用。
地方公共団体による積極的な活用を図ることを目的に、活用状況の動画を公開。

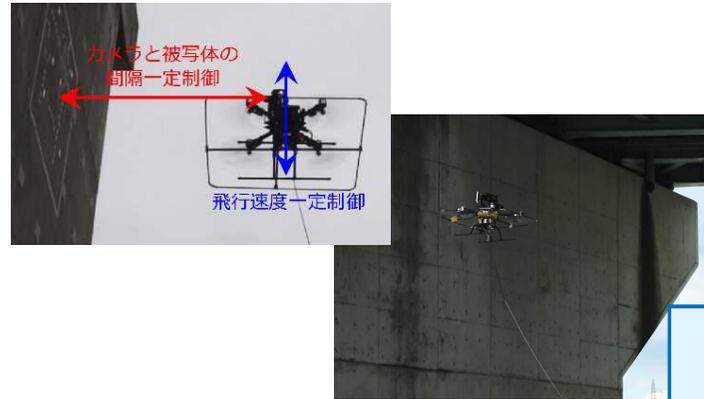
①コンクリート構造物変形部探知システム

- ・ポール先端の装置（ハンマー内蔵）による打撃時の反射波から損傷判断。
- ・労働災害の軽減、点検レベルの平準化を図る。



②マルチコプタ点検システム

- ・UAV搭載カメラの撮影画像から損傷判断。
- ・労働災害の軽減、点検レベルの平準化を図る。



③懸垂型 橋梁点検支援ロボット

- ・歩道から伸ばしたアーム先端の赤外線カメラやクラックゲージ等から損傷判断。
- ・労働災害の軽減、点検レベルの平準化を図る。



④ポール打検機

- ・ポール先端の打検機による打音から損傷判断。
- ・労働災害の軽減、足場コストの縮減を図る。



北技YouTubeチャンネルにて
動画を公開中



動画は
こちら



雪書・除雪記録
映像アーカイブ

動画は
こちら



YouTube 北陸技術事務所
Channel
北陸技術事務所公式チャンネル